

平成13(2001)年7月20日

第17号

会一肇
稻門會
倉享
世田谷
土大須賀
行人
發行人
編集人

事務局 〒157-0072
東京都世田谷区砧8-19-15
寺澤隆夫 方
TEL/FAX 03-3415-1887

世田谷稻門会会報

『世田谷稻門会』

「100一夏・納涼会」

平成十三年八月二十五日
(土) 渋谷クロスツワー最上
階「オスロ」で「納涼懇親会」
を開催します。

詳細については「納涼会の
ご案内」をご覧下さい。

交通至便で、会場よりは変
貌するエキサイティングな渋
谷の街が見渡せ、暑い夏の一
夕に涼をもたらしてくれると
存じます。

また当日は「90・WES

T J U Z Z · B A N D
〔リーダー、寺島邦夫氏（当
会会員）八名〕の演奏が予定
されています。

眺望、美酒、グルメ、ジャ
ズ、の極上の味わいとくつろ
ぎの得られる納涼のつどいに
ご期待下さい。

開宴 十八時
受付開始 十七時三十分
会場 渋谷クロスツワー
「オスロ」（旧東邦生命
ビル三十一階）

電話番号 三四九九一
三一五一

「東京二十三区の集い」

十月二十一日のホーム
カミングデーに大隈庭園
で「東京二十三区の集い」
が実施される予定です。

当日、昨年と同様多彩
な催しが行われます。ホ
ームカミングデー招待者
以外の方も参加自由です
ので秋の一日をおくつろ
ぎ下さいます様ご案内い
たします。

（関連記事八頁）



世田谷稻門会第十一回総会

五月二十六日十七時より駒

場工ミニナースにおいて総会が
開催され平成十二年度活動報
告・会計報告・会計監査報告
案・予算案が各承認された。

続いて、来賓の早稲田大学
石塚博司副総長より一二五周

年事業への協力に対する感謝
の意が表され、講師の早大野
球部野村徹監督から、今春は
優勝を逃し軍法会議のつもり
で講演に臨んでいるというユ
ーモア溢れる語り口で「他人
迷惑無用」の精神等、含蓄の

あるお話を伺った。
その後懇親会に移り、校歌
の大合唱で締め括つた。
（高橋和敏／記）

当日は第一部総会会議・第
二部来賓紹介ならびにご挨
拶・第三部講演会・第四部懇
親会の順にすすめられた。

第一部・第二部は大須賀幹事の
司会で進行。山口副会長開会
の辞、土倉会長挨拶の後、世
会長が議長となり、議事が進

められた。平成十二年度活動
報告（寺澤隆夫）、会計報告
(小谷野幹雄)、会計監査報告
(北内健一)、平成十三年度活
動計画（前原祖彦）、予算案
(川村保夫)が括弧内各氏よ
り報告された。審議の結果原
案報告どおり承認可決され
た。

総会議事終了後第二部に入
った。大学よりの来賓紹介後
母校創立百二十五周年記念事
業募金への二十万円の寄付
(目録)が、会長から石塚博
司副総長へ手渡された。つづ
いて石塚副総長より寄付に対
する謝辞、母校近況報告を中
心とする挨拶があつた。

第三部は同会場で岩上幹事
の司会で早大野球部監督・野
村徹氏の「私の野球人生」と
題する講演があつた。

第四部は「鳳凰の間」に会
場を移し、鈴木幹事司会のも
とに懇親会が行われた。来賓
の稻門会長を代表して真仁田
目黒稻門会長の挨拶があり、
つづいて、土井巧氏の発声で
乾杯、懇談に入つた。

新入会員2名の紹介もあり、
和やかに話は弾み宴は盛
り上がつた。

ファイナーレは岩上健一応援
部監督のリードで元気よく校



講演する早大野球部監督 野村 徹氏



講演会司会早大応援部監督 岩上健一氏

「早大では研究活動の活発化と学生教育の活性化に力点を置いて改革をすすめている。お願いしている百二十五周年記念事業募金もそのベースとなる施設の近代化を進めるためのものであり、今回世田谷稲門会より多額の寄付を頂戴しご協力に対し厚く御礼申し上げる。

石塚副總長挨拶要旨

「今春は対立教戦で二連敗し優勝を逸した。あと早慶戦には是非連勝したい。今年は野球部創部百周年に当たるので厳しい状況であるが、是非今秋には優勝し、記念の年を節目に一旦留日復活を期す」と

十六代監督を要請された時は、既に齡六十歳を越えており、前例もなかつたが、強い早大のチームづくりのために頑張っているのでご声援をお

ある。我々の頃の『野球で就職する』という気持は今はない。今後、伝統的野球部の方針を堅持しつつ野球部の強化につとめていきたい」

その後特に質疑を中心に話進められ、「女性チームづくり」「ハングリ－精進の欠如への対応」「部員資質」等、会員との質疑応答を交え、強い早大への取り組みを感銘深く語つた。

（出席者）	（大須賀／記）
〔來賓〕 石塚博司副総長	歌を齊唱、戸井田副会長の閉会の辞で懇親会を閉めくくり
本宏一校友課課長 渋谷裕孝	午後九時近く散会した。
校友連携強化員 野村徹早大	
野球部監督 真仁田勉黒稻	
門会会長 倉田富士男渋谷稻	
門会会長	
〔会員〕 土井巧 土倉享一	
山口進吾 戸井田幸雄 加藤	
隆夫 久保宏 守谷之男 奥	
田隆 津田滋 許勢侃 増田	
次郎 中瀬正一 寺島邦夫	
小谷野幹雄 山内章次 関根	
昌一 四倉弥生 辻村ひろみ	
森勲 藤井秀彦 矢島嗣久	
遠藤智 渡辺八郎 熊本昭二	

田副会長の閉会式を閉めくくりました。

猪瀬昌男 岩上健一 斎田秀雄
柏良子 下条俊彦 前原真
三橋宏 弥永一正 小川湛
草野昭次 斎藤正憲



中央 野村野球部監督 右 石塚副総長

野村徹早大野球部監督
講演要旨

前原幹事長より「女子学生の増加に対する施設の対応」に関する質問があり、これに対し「大学としても女子学生のため既存施設の改善に鋭意努力しており、また七月に完成する新学生会館には、その趣旨を踏まえて種々の趣向をとりいれている」旨の答があつた。

昭和三十二年頃二百數十名の部員のうち三分の一は甲子園の出場者であり、また部員の七、八割の人は第二学部（夜間）の学生で昼間は充分練習できた。

ある。我々の頃の『野球で就職する』という気持は今はない。今後、伝統的野球部の方針を堅持しつつ野球部の強化につとめていきたい」

その後特に質疑を中心に話進められ、「女性チームづくり」「ハングリ－精進の欠如への対応」「部員資質」等、会員との質疑応答を交え、強い早大への取り組みを感銘深く語つた。

十五年秋、安
をくみマスク
六連戦で優勝
十年代と現状
に内情は厳し
頃二百数十名
分の一は甲子
り、また部員
人は第二学部
で昼間は充分
の部員中三分
一、一般入学四
入学者である。
質はわれわれ
目で一流企業
「、そして大学
思い出」とし
いとの風潮で
の『野球で就
気持は今はな
的野球部の方
野球部の強化
たい」
疑を中心に話
女性チームづ
リー精進の欠
部員資質』等、
答を交え、強
組みを感銘深

平成十三年度行事予定

①共通事項

◇ 第十回定期総会

五月二十六日

納涼会 八月二十五日

東京二十三区稻門会連合のつどい 十月二十一日

新春交歓会 平成十四年一月

会報発行 年三回

ホーム・ページの開設

九月予定

※ ※ ◇ 新春交歓会 年三回

ホーム・ページの開設

九月予定

③その他

(1) 会員名簿(改訂版)を年

(2) 度末に発行

(3) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(4) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(5) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(6) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(7) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(8) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(9) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(10) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(11) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(12) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(13) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(14) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(15) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(16) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(17) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(18) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(19) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(20) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(21) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(22) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(23) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(24) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(25) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(26) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(27) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(28) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(29) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(30) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(31) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(32) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(33) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(34) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(35) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(36) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(37) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(38) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(39) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(40) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(41) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(42) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(43) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(44) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(45) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(46) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(47) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(48) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(49) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(50) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(51) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(52) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(53) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

(54) 早稲田大学創立百二十五周年記念募金活動に対する協力(平成十三年度分二十万円)

◇ 「ダンス」現在十一名で今後希望者を募り活動したい。今碁大会を予定している。

◇ 「囲碁」適宜開催。九月三十日に東京二十三区稻門会囲碁大会を行いう。

希望を調査し、散策と名店で ◇ 「食へ歩き」年4回会員の心者講習会を行う。

(本) 年会費は平成十三年度は千円より三千円に変更する。

山支店→郵便局 支払い場所・東京三菱銀行青

(2) 年会費並びに懇親会費用と支払方法を変更する。

諸般の情勢に配慮し在来の五

△「麻雀」奇数月第三土曜日

に開催。三ヶ月毎に渋谷・目

黒稻門会と交流大会。他に初

ラグビー早明戦

△「釣り」海船、磯、渓流、鮎、ルアーフライ等時期に合

わせて毎月行う

△「スポーツ観戦」野球

(六月二日)・秋早慶戦、春

会と合同で適時行う

△「スポーツ観戦」野球

(六月二日)・秋早慶戦、春

△「釣り」海船、磯、渓流、

鮎、ルアーフライ等時期に合

わせて毎月行う

平成12年度決算案及び13年度予算案

	12年度決算案			(単位:円)	13年度予算案
収入	予算	実績	バランス	摘要	要
前年度継越	1,384,982	1,384,982	0		2,130
年会費	1,790,000	1,749,130	-40,870	329名5千円、15名2.5千円	1,100
総会会費ア	500,000	380,000	-120,000	他にダブル入金を含む	720
納涼会会費イ	1,000,000	570,000	-430,000		720
懇親会会費ウ	500,000	0	-500,000	中止し、23区連合会となる	0
新年会会費エ	500,000	606,000	106,000		800
ア~工小計	2,500,000	1,556,000	-944,000		2,240
大學補助金	250,000	419,000	169,000		400
雑収入	0	9,120	9,120	旧名簿売上他	0
利息収入	1,000	1,623	623		1
収入合計	5,925,982	5,119,855	-806,127		5,871
支出					
総会会費ア	500,000	380,000	-120,000	大隈ガーデン	720
納涼会会費イ	1,000,000	570,000	-430,000	シーライン東京	720
懇親会会費ウ	500,000	0	-500,000	中止し、23区連合会となる	0
新年会会費エ	500,000	606,000	106,000	駒場工ミナス	800
ア~工小計	2,500,000	1,556,000	-944,000		2,240
総会等予備費	600,000	141,658	-458,344	総会41千円、新年会100千	0
総会等講師謝礼	200,000	100,000	-100,000	5万円×2回(総会・新年会)	150
小計	3,300,000	1,797,656	-1,502,344		2,390
諸経費					
事務用品費	200,000	117,512	-82,488	コピー消耗品	120
通信費	350,000	225,360	-124,640	切手、葉書等	230
会報作成費	400,000	201,131	-198,869	4回発行、内2回は外部委託	300
業務委託費	200,000	200,000	0	会計業務及び事務局費用	200
部会援助費	100,000	20,000	-80,000	囲碁部発足	20
会議費	300,000	272,000	-28,000	常任理事会他	200
名簿印刷代	—	0			300
校友会活動費	200,000	84,500	-115,500	ホームカミング協賛、狛江	100
23区活動費	200,000	54,000	-146,000	23区連合会会費	30
125周年寄付	—	—			200
雑費	10,000	16,970	6,970	振込手数料等	30
ホームページ	150,000	0	-150,000	12年度開設見送り	100
小計	2,110,000	1,191,473	-918,527		1,830
支出合計	5,410,000	2,989,125	-2,420,871		4,220
次期継越金	515,982	2,130,726	1,614,744		1,651

平成12年度末

- ①宛名シール(3セット) 31千円
- ②封筒 500枚
- ③返信用料金後納葉書 3000枚
- ④新会員勧誘謝礼図書券(500円券×10枚)
- ⑤郵便切手(@80×8枚、@90×9枚、@200×2枚)
- ⑥普通預金(東京三菱銀行青山支店)
預金¥2,171,215 未収金¥26,460、未払金¥66,949

平成13年5月26日

上記報告が正確であることを認めます

会計監査 北内健一

監査査掛元砥

「各部会報告」

「ゴルフ部会」

”楽しく明るく前向きに“特に年輩の方に、ゴルフに勝るスポーツはないと思います。お陰様で会員数百十余名と盛会です。先日、第二十七回コンペを、山梨県大月CCで開催しました。夏の暑さの気温でしたが、海拔五百メートルの好位置であるため、高原独特的の涼風に吹かれ、最高のゴルフ日和でした。余談ですが第一回コンペは九十三年九月三十日、たったの六名の参加でした。今昔の感に耐え

さて競技の方ですが、三十六名の方が参加、高速グリーンのなか、優勝は宮城淳、グランドシニアは柴田昇、レディースは竹入啓子の皆さんでした。アメリカの著名なプロゴルファーの大半がテニスプレーヤーとか、宮城さんは嘗てのデビスカップの日本代表、もありなんと頷いた次第です。乾杯の音頭を連続出場の

志村さんが発声、母校の教授でもあられる宮城さんのお話等和氣藹々の中に進行、次の再会を約し散会しました。

(北内健一／記)

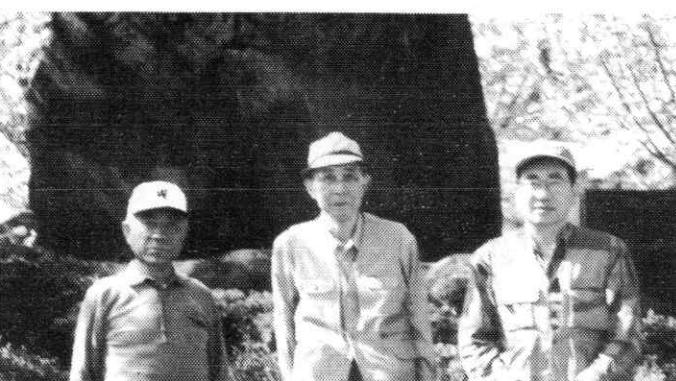
「釣り部会」

平成十三年度行事予定は、前年度会員の皆さんへ発送済みです。

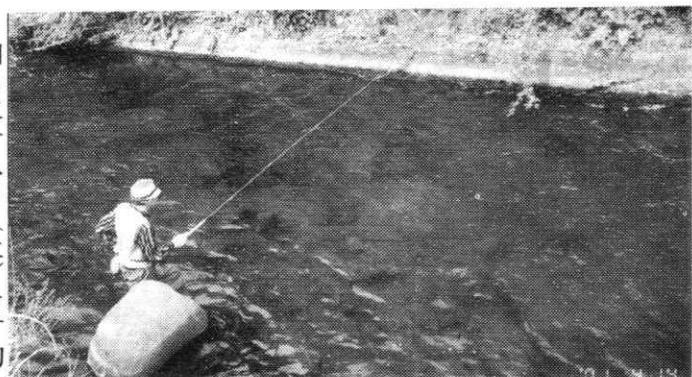
総回数二十一回になります。各自の希望釣種により案内を発送する事にしました。是非一人でも多く参加して下さい。

四月十四・五日（土・日）

狩野川本支流にて渓流釣りを加藤須賀雄・寺島邦夫氏に柴田昇とその孫（小五年生）の四名参加。



四月二十八日（土）きす釣り



北品川三河屋船宿より出船、金沢八景よりの小柴沖にて、中村庸夫、大内秀行、柴田昇、その孫（小五年生）計四名参加。数は十四～十八匹と少なかつたが、型は、二十二～二十二種と大型が多く楽しめた。艤に座つたベテランは、トップ六十五匹、二位五十九匹と大差をつけられた。次回キス釣りは、六月二十四日（日）に予定しているので、是非参加して下さい。（船宿未定）

(柴田昇／記)

「食べ歩き部会」

平成十二年度第四回の会合を四月二十二日（日）に開催。

今回は「新緑の北鎌倉名刹めぐりと会席料理を扇が谷指月庵で味う」という趣向で行つた。

北鎌倉駅に十一時集合。

圓覺寺に向う。北条時宗が文永・弘安の二次にわたる元寇の役での戦死者菩提を弔うた



め、無学祖元を開山として弘安五年に建立した臨濟宗寺院である。山門、仏殿、大方丈が直線上に並び、広い境内には多くの塔頭や庵が点在し、静寂な中にも質実剛健な禅宗文化を肌で感じることができた。つづいて鎌倉五山文化の象徴ともいえる建長寺を訪ね、日本初の禅専門道場として栄えた古を偲ぶことができた。一部の会員は縁切り寺・駆込寺の名で知られる東慶寺を訪れた。古都らしいいたたずまいとは裏腹に、権力抗争の血にまみれた鎌倉武士たちが、元寇に直面して力を結集し国難に当った歴史の跡を偲び感無量であつた。

亀が谷の急坂をぬけ鎌倉の奥座敷といわれる扇ヶ谷に向かう。

両側の断崖が迫る切通し、初夏を思わせる強い日ざしを浴びて、まぶしいばかりの新緑の中、うぐいすの鳴声を聞きながらの急坂下りは壮快な一时であつた。

指月庵では、やや汗ばみ乾いた喉を乾杯のビールで潤した。

初参加の林馨、佐山順孝両氏の自己紹介、世話人より新

文化を肌で感じることができた。日本初の禅専門道場として栄えた古を偲ぶことができた。一部の会員は縁切り寺・駆込寺の名で知られる東慶寺を訪れた。古都らしいいたたずまいとは裏腹に、権力抗争の血にまみれた鎌倉武士たちが、元寇に直面して力を結集し国難に当った歴史の跡を偲び感無量であつた。

亀が谷の急坂をぬけ鎌倉の奥座敷といわれる扇ヶ谷に向かう。

（食べ歩き部会）

「東京湾花火大会 観賞会」

（食べ歩き部会有志の会）

前述鎌倉の例会でご紹介し

た八月十一日（土）の東京湾

同で尾形船船上より豪華絢爛

の夏の景物を、観賞する会を

催します。

年度の行事日程等の報告がありました。手入れの行き届いた見事な庭園を眺めながら、見

地の素材が巧みに取りいれられた会席料理に舌鼓を打ち、美酒に酔いつつ話は弾み樂しい一時を過ごし、会員相互の一層の親睦が図られた。午後三時次回の再会を楽しみに散会した。参加者二十二名

次回（平成十三年度第一回）は九月三十日（日）に実施予定。

（大須賀肇／記）

（参加者）麻生卓司、麻生久江、上保幸夫、大須賀肇、蔭山康夫、柏良子、加藤隆夫、加藤玲子、岸田正和、木村滋、熊本昭二、犀川千代子、佐山順孝、莊司真恵、鈴木宏治、関根昌一、高葉宏、武居達治、林馨、武藤哲、和田全正、渡辺八郎

砂降りに見舞われたため、急きよ雨宿りを兼ねて半チャン

二回の番外戦を十三名の参加のもと開催した。大会とは違つた雰囲気、勝敗を和氣藹々と楽しんだ。

次回大会は六月二十四日

（土）いずれも十三時より

「だんとつ」で開催致します

ので、皆様のご参加をお待ち

「麻雀部会」

致して居ります。
結果並びに参加者

優勝 草野浩三 準優勝 草野昭次 三位 宮木甫 四位

六位 原明 七位 市川隆彦 八位 原諒子

一、五月晴れの五月十九日（土）十三時より成城学園前

駅歩一分麻雀クラブ「だんとつ」に腕と口自慢の自称「雀プロ」が十七名集合し、第十

一回目の親睦麻雀大会を開催し腕前を競つた。

当日幸運の女神は草野兄弟に微笑み宮木、麻生両氏の懸命の追い上げを振り切り、草野浩三（弟）氏が優勝、草野昭次（兄）が準優勝とワンツーフィッシュを飾つた。

参加者の増加による財政事情の好転に伴い、今回から賞の大盤振舞を行い参加者の半数が何らかの賞を手にした。

表彰式の前後より雷鳴と土砂降りに見舞われたため、急

きよ雨宿りを兼ねて半チャン

二回の番外戦を十三名の参加のもと開催した。大会とは違

つた雰囲気、勝敗を和氣藹々と楽しんだ。

尚、お問合わせは左記に葉書にてお願いします。

〒156-0055
世田谷区船橋3-22-4-105
（P.H.S.070-5712-2651）
(麻雀部会代表世話人)

「ボウリング部会」

現在二十三区稻門会でボウ

リング部会のあるのは世田谷と渋谷のみ。合同でスタート

して六月で丸四年、毎月一回

継続して開催しております。

四月は十五日、久しぶりに

賞品付の特別大会。参加者十

五名、賑やかで楽しいひとときを過ごしました。賞品は洋

酒、家庭用品、高級菓子、非売品の早稲田グッズ等盛況

下谷内堯両講師の指導のもと

開催した。受講者の上達のス

ピードは速く間もなく会員が

親睦大会に出席出来るレベル

に達するものと期待されてい

る。

尚、これから麻雀を覚えた

い方、今までの打ち方に飽き足りない方は、是非この機会にご参加されますようご勧誘

申し上げます。

尚、お問合わせは左記に葉書にてお願いします。

〒156-0055

世田谷区船橋3-22-4-105
（P.H.S.070-5712-2651）
(麻雀部会代表世話人)

五月は連休明けの六日、十

二名の参加を得て開催。渋谷稻門会の倉田会長も顔を見

せ、ストライクの四連発を出してピッククリさせるなど、また初参加の清水廣一さん（昭四十四文）も、さすが往年のスター矢島プロの同級生とか、七年ぶりの投球とは思えぬ力強さと技術を披露、活気ある三ゲーム、二時間の快適な運動でした。

部会は毎月一回、原則として第三日曜日の午前十一時から、世田谷オーネットボウルで開催しております。案ずるより生むが易し、初めてでも気軽にできるスポーツ、皆様の参加お待ちしております。

（武藤哲／記）

ビト或いは優雅にフロアの隅から隅まで所狭しと踊るさまは正に動く芸術の極みでもあります。上手になればなる程、垂涎の的になつてゐることは万人の認めるものであります。

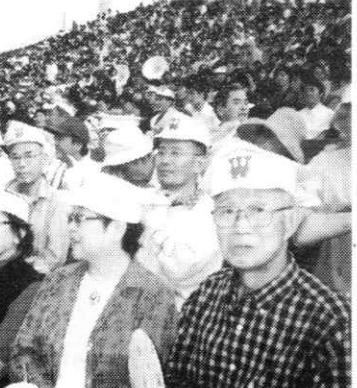
我々世田谷稻門会ダンス部登録メンバー一人は上達を夢見て日々最適なレッスン場で日夜、特訓を重ねています。前回もふれましたが三十人以上上の参加がないと会場の確保から教師の招聘に至る運営が困難という特殊な条件下でも、何時の日か部結成の時がくることを確信してダンス道に精進している此頃です。

（武田信夫／記）

今回、懇親会で決まったこと下記の通り、

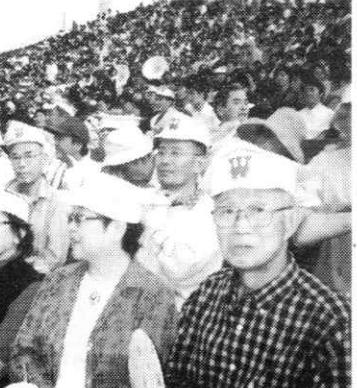
① 柴田さんより将棋も碁と一緒にやつてくれないかとの提案があり。皆にはかり囲碁部の将棋人口を数えたら八名もあり、次回から囲碁将棋部会として、将棋部会が独立でききるまで当面の間、囲碁と将棋を一緒にを行うことが決ました。

平成十三年春の早慶野球一回戦の観戦会を神宮球場にて六月二日（土）に開催した。今回母校は立教戦に連敗したため優勝を逸したが、五月二十六日に開催した世田谷稻門会総会での野村野球部監督の講演の影響もあり、参加者は総数三十八名（内同伴者十四名）の過去最高であつた。



「スポーツ観戦部会」

（矢田 廣／記）



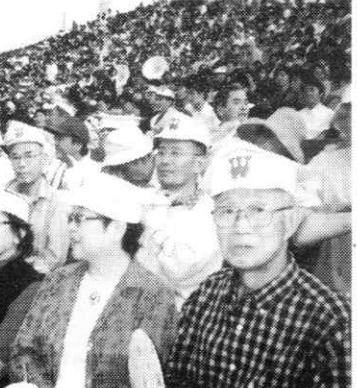
た。対局の合間を縫つて三々五々に風呂に行く。五階にあはる露天風呂は建てて未だ間もなく、周囲の山々の稜線が見え、春緑が目に映え気持ちがいい。夕食まで五局打つ。夕食は新鮮な魚の船盛を囲んで飲み放題の懇親会を開催する。

今回、懇親会で決まったこと下記の通り、

① 柴田さんより将棋も碁と一緒にやつてくれないかとの提案があり。皆にはかり囲碁部の将棋人口を数えたら八名もあり、次回から囲碁将棋部会として、将棋部会が独立でききるまで当面の間、囲碁と将棋を一緒にを行うことが決ました。

平成十三年春の早慶野球一回戦の観戦会を神宮球場にて六月二日（土）に開催した。今回母校は立教戦に連敗したため優勝を逸したが、五月二十六日に開催した世田谷稻門会総会での野村野球部監督の講演の影響もあり、参加者は総数三十八名（内同伴者十四名）の過去最高であつた。

当日は梅雨の谷間の絶好の野球日和となり、試合開始二時間前に集合し、応援部岩上監督のお世話で学生応援席の最前列に陣取り、応援部員及びチア・リーダーのリードで慶應との応援合戦をくりひろげた。

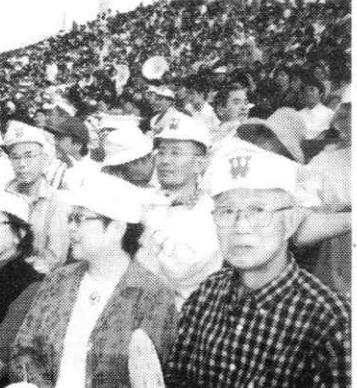


試合は母校の和田投手の力投と打線の爆発で九対〇で慶應に完勝した。終了エールの交換後、早慶戦勝利の歌「早

く、ほどんどわれわれだけの貸切の状態である。参加者は全部で十一名総当たり、今回から点数制を導入すれば魂を与えた妖精の如く華麗な音楽に乗つてキビキ

と、東海大 師岡教授が有力です。社交ダンスがオリンピックの正式種目に採用されるのも近くなり、例え高齢者と雖も一度コスチュームに着替え魔法の靴ならぬダンスシューズを履いてペアにならなければ魂を与えた妖精の如く華麗な音楽に乗つてキビキ

と、東海大 師岡教授が有力です。社交ダンスがオリンピックの正式種目に採用されるのも近くなり、例え高齢者と雖も一度コスチュームに着替え魔法の靴ならぬダンスシューズを履いてペアにならなければ魂を与えた妖精の如く華麗な音楽に乗つてキビキ

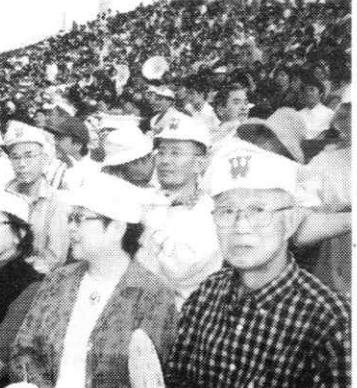


と、東海大 師岡教授が有力です。社交ダンスがオリンピックの正式種目に採用されるのも近くなり、例え高齢者と雖も一度コスチュームに着替え魔法の靴ならぬダンスシューズを履いてペアにならなければ魂を与えた妖精の如く華麗な音楽に乗つてキビキ

と、東海大 師岡教授が有力です。社交ダンスがオリンピックの正式種目に採用されるのも近くなり、例え高齢者と雖も一度コスチュームに着替え魔法の靴ならぬダンスシューズを履いてペアにならなければ魂を与えた妖精の如く華麗な音楽に乗つてキビキ

と、東海大 師岡教授が有力です。社交ダンスがオリンピックの正式種目に採用されるのも近くなり、例え高齢者と雖も一度コスチュームに着替え魔法の靴ならぬダンスシューズを履いてペアにならなければ魂を与えた妖精の如く華麗な音楽に乗つてキビキ

と、東海大 師岡教授が有力です。社交ダンスがオリンピックの正式種目に採用されるのも近くなり、例え高齢者と雖も一度コスチュームに着替え魔法の靴ならぬダンスシューズを履いてペアにならなければ魂を与えた妖精の如く華麗な音楽に乗つてキビキ



「創立百一十五周年記念事業
募金協力状況」

(会報十六号掲載、その後の
状況)

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

- ① 創立一一五周年記念事業の一環としてかねてより工事が進められてきた、新学生会館が今秋オープンします。(詳細は八九頁)
- ② 早大の系属一貫校としての早実の小学校が中学・高校の共学化とともに来春スターします。

(詳細は九頁)

記念行事は十一月、盛大に開催!
この新学生会館の門出を、

全館冷暖房完備で情報環境も整った、他大学には類を見ない画期的な施設で、「創立百

五周年記念事業」の一環として、秋にオープンします。

として、秋にオープンします。

「早稻田実業改組」

国分寺へ



新学生会館は三つのキャンパスをつなぐ交差点です。
(早稲田ワーキングリー)

新学生会館は三つのキャンパスをつなぐ交差点です。
(早稲田ワーキングリー)

いる。四年制でも廃止を追い込まれる大学が次々に出るだらう。このような状況の中で、

早稲田大学といえども伝統や現在の人気の上にあぐらをかいているわけにはいかない。

百年前は単なる新興私立大學、五十年前でさえ旧帝國大學系国立大学のすり止め扱いをする受験生も多かつたのだ。栄枯盛衰は世の常だが、

本学はどの時代でも常に世間の評価に関係なく、建学の精神や校風を愛してやまない人々に支えられてきたのである。しかし、この愛校精神に近頃翳りが見えてきている。

たとえば、昨年秋にリーグ優勝をかけた早慶戦の学生席が売れ残るという珍事が起きた。数で負けるはずの慶應は、

付属の小・中・高校生が黄色いポンポン片手に応援に駆け付け、大応援勢力となつてい

る。片や早稲田は、付属の学

院など早慶戦の日は休講措置

となつてゐるにもかかわらず、学院生の姿をみつけるのは難しい。本来、付属校は、

教育者を目指す子どもたちに對して、早稲田大学は「夢を託すにふさわしい大学」であ

り続けなければならない。

「いいでもいいから『良い大学』の一つ」としてでなく

東工大ならなお良い、というのなら、早稲田に入りたくて日々研鑽を積む受験生に失礼といふものだ。

そこで早実である。もともと付属校ではなく、系属校となつてからも、一般受験を含めても七割ほどしか早稲田に入れないので、付属校よりも熱く、大

学への帰属意識も高いという伝統ができた。毎年、春の早慶戦の応援に行くことが新入生の楽しい恒例行事となつている。しかし、この早実も年々入試が難しくなり、「じ」でも良いから偏差値の高い学校へ」という受験生や親が増えている。

鉄は熱いうちに打たねばならない。早稲田を愛する点では誰にも負けない子どもたちを育てる小学校が、中学・高校の共学化とともに来春スターする。

それでも、問題は大学である。未来の科学者や芸術家や

教育者を目指す子どもたちに對して、早稲田大学は「夢を

託すにふさわしい大学」であ

り続けなければならない。

「いいでもいいから『良い大学』の一つ」としてでなく

でも早稲田でも良く、東大や

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

◇平成十二年十一月三十日現在
三百五十八件 70,950,026円

(目標 195,210,000円に対し
36.3%)

（会報十六号掲載、その後の
状況）

世田谷稻門会・校友個人

◇平成十三年一月六日現在

一百七十七件66,820,000円

(目標 195,210,000円に対し
34.2%)

「他の大学ではなく、この早稲田大学でなければならぬ大学」として、二十二世紀へその存在理由を継承していかなければならぬのだ。

(早稲田ウイークリー)

「生活と文化に直に接する」とができますので、楽しみであります。

今回も北京市人民对外友好協会の招請で、大変魅力的な

訪中の旅になると想いますので、是非ご参加下さるよう案内申し上げます。

なお参加人員に限りがあり小生宛にお送り下さい。

ご一緒に魅力ある中国の旅ができますことを楽しみにしております。

世田谷稻門会「食べ歩き部会」有志による中

国旅行の「」案内

水島 豊
日 程 八月十九日（日）
～八月二十六日（日）
小学生が会員の東京都日中友好協会では、今年度の訪中事業として、「エキゾチックな港町・青島と遣唐使ゆかりの寧波、古都・紹興の旅」を計画いたしました。

旅行費用 二十四万八千円
募集人員 二十名
申込締切 七月十一日

スで、相互の親睦を深めたいと考えております。詳細が決まりましたらあらためて「」案内申し上げますので、会員のみなさまへ周知いただき奮つてご参加いただきますようお願い申し上げます。

期日・二〇〇一年十一月十二

日（月）
前号の第十六号会報・十ページ（四月二十日発行）でお知らせした表記の寄稿について、野球部員担当者から内容訂正の電話連絡がありました。

原文のまま掲載した内容の

なかで、「特別招待券（バス

券）を販売しています」「バ

ス券の「購入をお願いするし

だいです」の記述は不注意か

らの誤りで、野球部は販売行

為はしていないという趣旨で

す。バス券は、野球部への協

力金、あるいは支援金として

一定額を寄せていただいた方

に寄贈するという性格のもの

です。

「第一回 奥島総長杯全国支部・東京二十三区・二十二市ゴルフ大会のお知らせ」

本大会は、全国の稻門会相互の親睦を図ることとに、母校設立百二十五周年を盛り上げ、その記念事業募金を支援する趣旨で昨年十一月二十四日に第一回を開催いたしました。今年は「久邇カントリーカラブ」にて開催いたします。

校友会事務局
〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104
TEL03-3203-8040
FAX03-3203-8129
E-mail
alumni@list.waseda.ac.jp

（土倉 享一／記）

この点については、五月二十六日の当会の第十回総会でも、野球部の野村徹監督が講演のあと特に発言を求めて、原文の表現の誤りを説明し、訂正されました。

会員の方々、とくに総会には参加できなかつた方に、この紙面を通じて、ご理解をお願いするしたいです。

計 報

田村又夫氏（昭和二十九年・理工卒）は平成十三年四月二十五日に逝去されました。七十歳でした。

当会会員

田村又夫氏（昭和二十九年・理工卒）は平成十三年四月二十五日に逝去されました。七十歳でした。

謹んで「冥福をお祈りいたします。

世田谷稻門会の現状と新規会員の募集について

世田谷稻門会は平成4年にスタートしました。年々会員数も増加し、都内23区の稻門会でも1~2を争う会に成長しています。
(会報16号)

平成12年4月1日の新名簿作製時の会員数	361名	3月末 368名
新規入会・復活者	+51名	入会 16名
退会・休会者	-45名	休退会 -17名
平成13年6月末現在	367名	367名

当稻門会としては、何とか400名以上の会員数にしたいと考えております。

そして新規会員を紹介して下さった方には僅かではありますが、謝礼(図書券)を差し上げることにしております。是非ご近所の方、同級生の方、会社の同僚等窓口の方を紹介ください。

事務局までご連絡頂ければ早速申し込み用紙をお送り致します。

(〒157-0073 世田谷区砧8-19-15 寺澤隆夫 Tel & Fax 3415-1887)

全体の行事としては、1月の新年会・5月の総会・8月の納涼会と年3回の行事のほか、秋には「東京23区稻門会連合のつどい(大限庭園)」が行われます。

その下部組織として以下のような部会があり、活発な活動をしています。(入会申し込みは代表世話人まで)

代表世話人・会員数・部会概要・年会費等一覧

ゴルフ	北内 健一	(T&F 3483-5922)	119名、年4回のコンペ開催 年会費2000円
スポーツ観戦	山口 進吾	(Tel 3303-2733)	62名、春秋の野球早慶戦早明ラクビー応援
麻雀	下谷内 堯	(Tel 3789-1824)	41名、奇数日の第3土曜日 年会費 1,000円
ボウリング	武藤 哲	(Tel 3302-2607)	24名、オオクラ・ボウルで(第3日曜日)
ソフト・ポール	渡邊 洋	(Tel 3323-3357)	20名、澁谷・府中と合同で毎月(2~3回)
釣り	柴田 昇	(Tel 3700-1290)	17名、海・渓流釣り等(毎月最終日曜日) 年会費1000円
食歩き	麻生 卓司	(T&F 3414-4706)	50名、年4回の例会開催(2、4、9、11月の第1日曜日) 年会費1000円
囲碁	矢田 広	(Fax 3700-2500)	17名、年4回の親睦囲碁会(3、6、9、12月の第1日曜日)
ダンス	武田 信夫	(T&F 3704-5321)	11名、(各自、分散練習中)
テニス	鈴木 正則	(Tel 045-481-9527)	21名、毎月1回の練習会(日下休会中)

(注) (年会費は通信費であり例会開催会費は別途徴収する。)

◆投稿・提案を
お待ちしています。

※次号発行日・一月十日予定
原稿〆切・十一月三十日
事務局または広報委員会(大
須賀肇)までお寄せ下さい。

□発行日は、原則、年四回の全体行事の一ヶ月前です。発行日前に約三週間の印刷期間が必要です。原稿は「約二ヶ月」前にさかのぼって間に合う時期にお寄せ下さい。匿名記事はお受けできません。
□原稿は一行十三字とします。縦書きで右から左へお願いします。
□スペース上の理由などから字句の整理や一部の割愛などさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

名簿の正誤・住所移転・追加のお知らせ（会報16号以降）
名簿（平成十三年四月発行）会報等記載事項

休 会

P.7 伊藤洋子	P.18 長田孝之	P.18 長田孝之・梶原真悟	P.27 後醍院良一	P.37 杉村美恵
P.68 水野義雄	P.74 保倉 進	P.75 谷田辺茂		

退 会

P.8 井上千恵子	P.5 石黒保雄	P.32 桜木武比古	P.56 畑中 博	P.61 舟山 聰
P.59 橋渡啓子	P.67 三葛木弘知	P.75 山上 肇	P.45 田村又夫	

住所移転

P.28 小林正一

P.80 渡邊 洋

追加（新入会員ようこそ！！）

- 1 栗山 圭三 昭27商
- 2 森 黽 昭37政経
- 3 四倉 弥生 平3社会
- 4 四倉 幹木 平5政経
- 5 西川 芳子 昭44教
- 6 遠藤 昌孝 昭36法
- 7 守屋 寧夫 昭35商
- 8 富田 裕夫 昭43理工
- 9 石井 孝之 昭30商
- 10 猿谷啓次郎 昭26文
- 11 国澤 俊一 昭43理工
- 12 川口 泰助 昭28政経
- 13 山中 叶 昭42商
- 14 青笛 吉郎 昭44理工
- 15 伊藤 克彦 昭41法
- 16 鈴木 淳史 昭51社会

個人情報につき不掲載

編集後記

第10回定時総会も終了し、新年度が発足しました。新年度の活動計画には数々の新機軸がうちだされ会の活性化が進められています。また年会費の値下げ、徴収方法の改善等構造改革の諸施策も着実に実行に移されました。今後もひきつづき全般に亘って見直しをすすめています。

一方会員総数はほぼ横這いですが、転出入を含め異動の激しいのが実態です。新年度は特に新会員の増加に力点を置く方針が確認されています。新会員の入会紹介等各位のご支援をお願いします。

(O)